

青年部だより
青年部だより
～8月例会開催～

8月26日（金）新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、8月例会『組織活性化と組織継続のための会員拡大』を開催しました。

今回の例会では、会員数を大幅に増やした実績のある茂原商工会議所青年部の卒業生と現役部員を講師として迎え、茂原の現役部員11名にもご参加いただきました。

第1部の講師講演では、貴重な経験談を交えて会員拡大についてご講演いただき、各部員が会員拡大の重要性を改めて考えるきっかけになりました。

第2部はブレインストーミングを用いてグループディスカッション。

各グループで話し合いました。東金・茂原合同でのフェスを行いたいなど普段の会議では出てこないユニークな意見も出てきて、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回の例会で得られた学びを今後の事業や会員拡大に活かしていきたいと思います。

東金商工会議所青年部は20歳から45歳まで入部いただけます。

一緒に地域を活性化させたい、自企業を発展させたい、自己研鑽をしたいなど熱い想いのある方をお待ちしております。

文責 対外交渉委員会

委員長 石丸裕子

※撮影時のみマスクは外して撮影しています。



「茂原VEGの皆さんから色々学ぶことができました」

福祉事業所交流会開催
福祉のまち推進委員会

8月24日（水）、福祉のまち推進委員会主催による第5回福祉事業所交流会を開催しました。新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せないことから、昨年同様WEBでの交流会になりました。

14事業所の方々が参加され、今回のテーマである「ウイルスコロナでよかったこと・アフターコロナでやってみたいこと」について自己紹介を含め、1事業所3分程度でお話いただきました。

「ウイルスコロナでよかったこと」については「あまりなかった」「大変なだけだった」という事業所さんの発言に対して、画面上のほとんどの方が大きく頷いていた光景がとても印象的でした。「アフターコロナでやってみたいこと」については「ご利用者に窮屈な思いをさせてしまっていたので、感染予防対策

の大切さを踏まえながら、少しずつ活動を増やしていきたい」「このような交流会や研修等、WEBではなくみなさんと顔と顔を会わせて実施したい」という意見が出される中、小声で「飲み会！」と答えられた方もいました。これはみなさんが今のコロナ感染状況をきちんと理解したうえで、感染対策に十分重きを置きながら、前向きに「外とのつながりや活動を増やしたい」という思いからではないでしょうか。

「自粛することで起こりうるリスク」と「コロナウイルスに感染しない為の対策」の間に生まれるジレンマは、福祉事業所のみならず、私たち共感できる悩みだったのではないのでしょうか。

今後様々なテーマで東金市内の福祉事業所のみならずと交流を通して、横のつながりを強



次こそはリアルな交流を!!

文責 福祉のまち推進委員会

委員 笠原正美

のぼり旗でPR!
《お店の安全と、お客様の安心できるお店》

■配布対象
感染防止対策に取り組む当所会員事業所

■配布枚数
1事業所1枚（無料）
（2枚目以降は1枚500円で販売※税込）

■申し込み
申込書をご記入の上、当所へFAX
または当所2階窓口までお申し込みください。

■受取方法
申込書をご提出後、当所2階窓口へ受け取りにお越しください。

新型コロナウイルス感染防止対策を実施している
当所会員事業所を全力で応援します!

問 東金商工会議所 TEL 0475 (52) 1101 FAX 0475 (52) 1105

「とうがねわくわく子育て応援団」
協力店を募集中!

東金市では、「とうがねわくわく子育て応援団」（東金市版「チーパス」）を実施しており、協力店を随時募集しています。協力店情報（店名、住所、電話番号など）は、子育てアプリや市ホームページに掲載させていただきます。新規顧客の獲得、お店のPRにぜひご活用ください!

子育て応援サービスのイメージ

協力店 ↔ 子育てアプリ普及協力 ↔ 東金市
協力店 → 子育てアプリの画面提示 → 子育て世帯
東金市 → ポスター交付 → 協力店
東金市 → 子育てアプリによる店舗情報など情報提供 → 子育て世帯

子育て応援サービス各店舗による可能な範囲でのサービス提供
例：ライス大盛無料、優待券プレゼント、ワンドリンクサービスなど

【申し込み】東金商工会議所 TEL 0475(52)1101
※市内に店舗がある会員に限り。非会員の方は、東金市子育て支援課に申し込んでください。
【問い合わせ】東金市子育て支援課 TEL 0475(50)1215

池の端より（八十六）
《ヤマアカガエル》

8月の八鶴湖の観察会でヤマアカガエルを初めて見た。八鶴湖のような水辺の観光ではカエルを見るのは当たり前と思うかもしれないが、そうでもない。カエルは水の中で産卵し、幼生のオタマジャクシの時は水の中で過ごす。その後は陸に上がって生活するものが多い。八鶴湖で普通に見られるウシガエルは一生を水辺で暮らす少数派かもしれない。ヤマアカガエルはまだ寒い2月中旬頃に、他のカエルに先がけて産卵する。他のカエルが産卵する頃には水辺にその姿はなく競争を避けている。ということはその時期に水が溜まっている田んぼや湿地が残ればならない。残念ながら冬の間に水が残っている田んぼや湿地は極めて限られている。アカガエルの仲間絶滅が心配されている。今回見られたアカガエルは迷い込んだものだろうが、八鶴湖の近くに繁殖できる環境があると思われる。来年の2月、周辺を歩きまわってみようかな。

細川 隆

毎週開催! **スマホCLUB**
とうがね 毎週約1時間半、持ち物:スマホ 参加費:500円

10月 7日(金)	10:30~	会場は お問い合わせ ください
10月14日(金)	10:30~	
10月21日(金)	10:30~	
10月28日(金)	10:30~	
11月 4日(金)	10:30~	

新しい生活様式で「取り残され感」のある中高年の皆さん、スマホデビューしませんか?

まちの駅ネットワークとうがね
問 (株)街波通信社 TEL 0475 (86) 7772

第86回八鶴湖いきもの調査
空を見て雨対策、雨天決行です。
参加費:無料

10/1 SAT
帽子・タオル、熱中症対策、感染症対策、雨対策、各自で準備をお願いします。

集合:八鶴館ホール
時間:9:00~11:45頃